

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年10月19日

計画の名称	美祢市民生活の基盤が充実した、自然と共生したまちづくり（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	美祢市												
計画の目標	優れた自然環境を保全し、すべての市民が快適で文化的な生活が営めるよう、公共下水道事業計画に基づく計画的事業実施に努める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	36	A	36	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	公共下水道処理人口普及率を35.9%（H29.3.31）から36.5%（H32.3.31）に増加させる。	H30当初		H31末
	公共下水道処理人口普及率 下水道処理区域内人口（人） / 行政区域内人口（人）	359‰	‰	365‰

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	美祢市	直接	美祢市	管渠(汚水)	新設	汚水準幹線整備事業(下 村準幹線)	汚水準幹線、L=647m	美祢市						36		-
											小計						36		
											合計						36		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 担当部局内で事後評価を実施	事後評価の実施時期 事業終了後
	公表の方法 市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	準幹線の整備により、下水道普及率が普及率35.9%（H30当初）から36.6%（H31年度末）になった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後整備する区域については、地域住民の意向を重視し進める。しかし、整備後速やかに接続の期待ができる区域が現状ないため、当面整備予定はない。	

